令和5年度 第2回 長門市環境審議会 会議録（要約版）

日時：令和5年9月14日（木） 14：00～15：00

場所：長門市役所3階大会議室1・2

出席者：委員10名（欠席7名）、事務局5名

1 開 会

2 市民生活部長あいさつ

3 議 事

（1）（仮称）新白滝山風力発電事業 計画段階環境配慮書の答申について

以下について、別添、答申案により事務局から説明

1 総括的事項について

（1）（2）

2 環境評価項目について

（1）（2）（3）（4）（5）

いただいた意見を踏まえ、答申案を修正することで了承。

修正後の答申案については、会長の了解をもって、審議会意見として提出することで了承

4 その他

【主な質疑等】

(1) (仮称)新白滝山風力発電事業 計画段階環境配慮書の答申について

ア 答申案協議

	発言内容
A 委員	2 (1)「想定区域から流れ出る河川についても」という表記があるが、表現が曖昧を射ていない。“河川” “流域” などの言葉の定義をしっかりと誤解のない文章にして欲しい。
事務局	ご指摘のとおり、言葉の定義をしっかりと確認したうえで訂正させていただきます。
B 委員	1 (1) 誰が誰に何をするのか理解しづらい。もう少し文章を補足してはどうか。
事務局	補足する方向で検討します。
C 委員	2 (5)「一連の山の景観についても配慮したもの」との表記だが、現存する登山道を分断するような造成は控えてもらいたい。景観のみならずそういったニュアンスも補足して欲しい。
事務局	補足する方向で検討します。
D 委員	<p>答申についてはこれでいいと思う。</p> <p>以前もこういう（風力発電の）話があった。</p> <p>私の所属する自治会は30軒程度だが、そのうち28軒が賛成だった。</p> <p>近隣の自治会も同じような状況で賛成が大多数だった。</p> <p>しかし一部の少数派が反対したために計画がボツになってしまった。</p> <p>自治会にも多少なりとも利益が得られると期待していたのに残念な結果になった。</p> <p>まずは地元をしっかりとおさえないと元も子もないのではないか。</p> <p>本事業では地元調整はうまくいっているのか。</p> <p>このような協議を進めても、最後に地元が反対したら計画が中止になるのなら、協議するだけ無駄なのではないか。</p>
事務局	<p>現時点では、まだ「計画段階環境配慮書」の段階にあり、この後、「環境影響評価方法書」「環境影響評価準備書」「環境影響評価書」というステップを踏んでいかなければならない。</p> <p>本審議会としては、中立の立場であり、反対派・賛成派どちらの意見も偏見なく扱わなければならない。当然地元の意見には十分配慮するように指導は行っていく。</p>